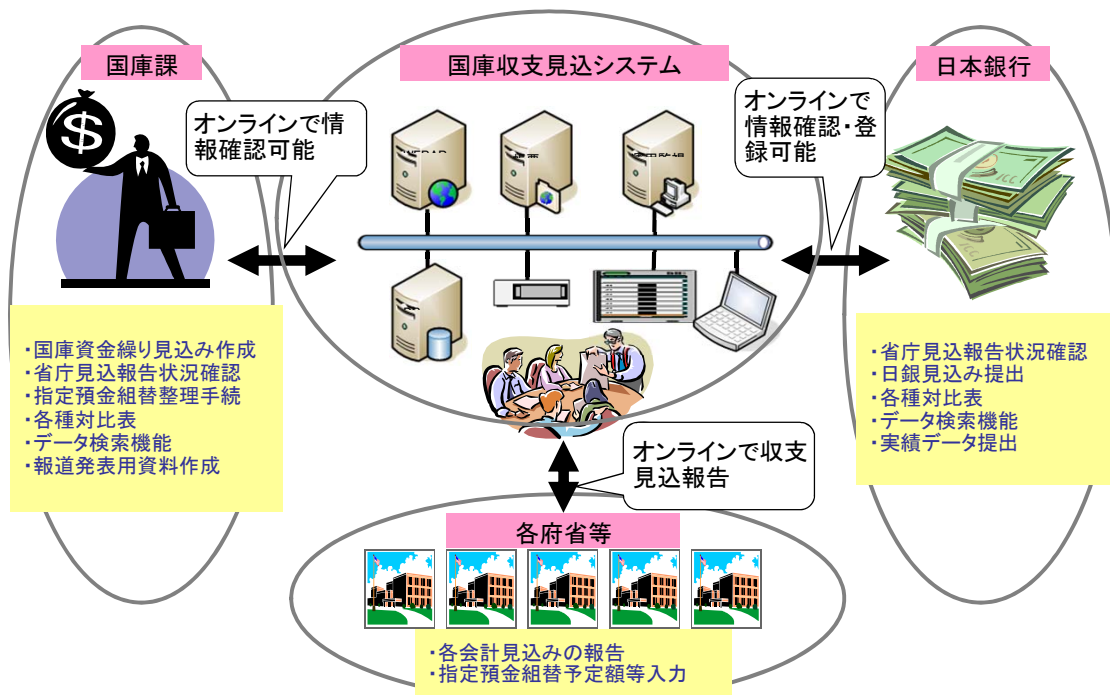


# 国庫収支見込システム

財務省理財局国庫課においては、予算が円滑かつ適切に執行できるように国庫収支事務を行っており、国庫金の効率的な管理に資するため、日々生じる国庫金の受入と支払の調整を図り、国庫金残高を縮減する取組みを実施しています。

国庫収支見込システムは、国庫収支事務を電子化することで、事務の効率化を図り、国庫資金繰り見込みの精度を向上させることを目指して構築したもので、平成16年度中に開発し、平成17年4月から運用を開始しています。

具体的には、政府共通NW等を利用して日本銀行や各府省等から国庫金の収支見込情報や収支実績情報をオンラインで収集し、サーバにて編集・蓄積し、国庫資金繰り見込や国庫収支実績資料の作成に利用しています。



## 【主な業務・機能説明】

### (1) 国庫資金繰り見込みの作成

各府省等から提出される国庫金の収支見込報告や日本銀行から提出される収支見込報告等を踏まえて、毎週、毎月のタイミングで国庫資金繰り見込みを作成し、収支見込報告等に変更があれば随時更新しています。また、日本銀行から提出される日々の国庫金の収支実績等や、財政融資資金から提出される情報を収集・分析することで、より精度の高い国庫資金繰り見込みを作成しています。

### (2) 資金調達・運用

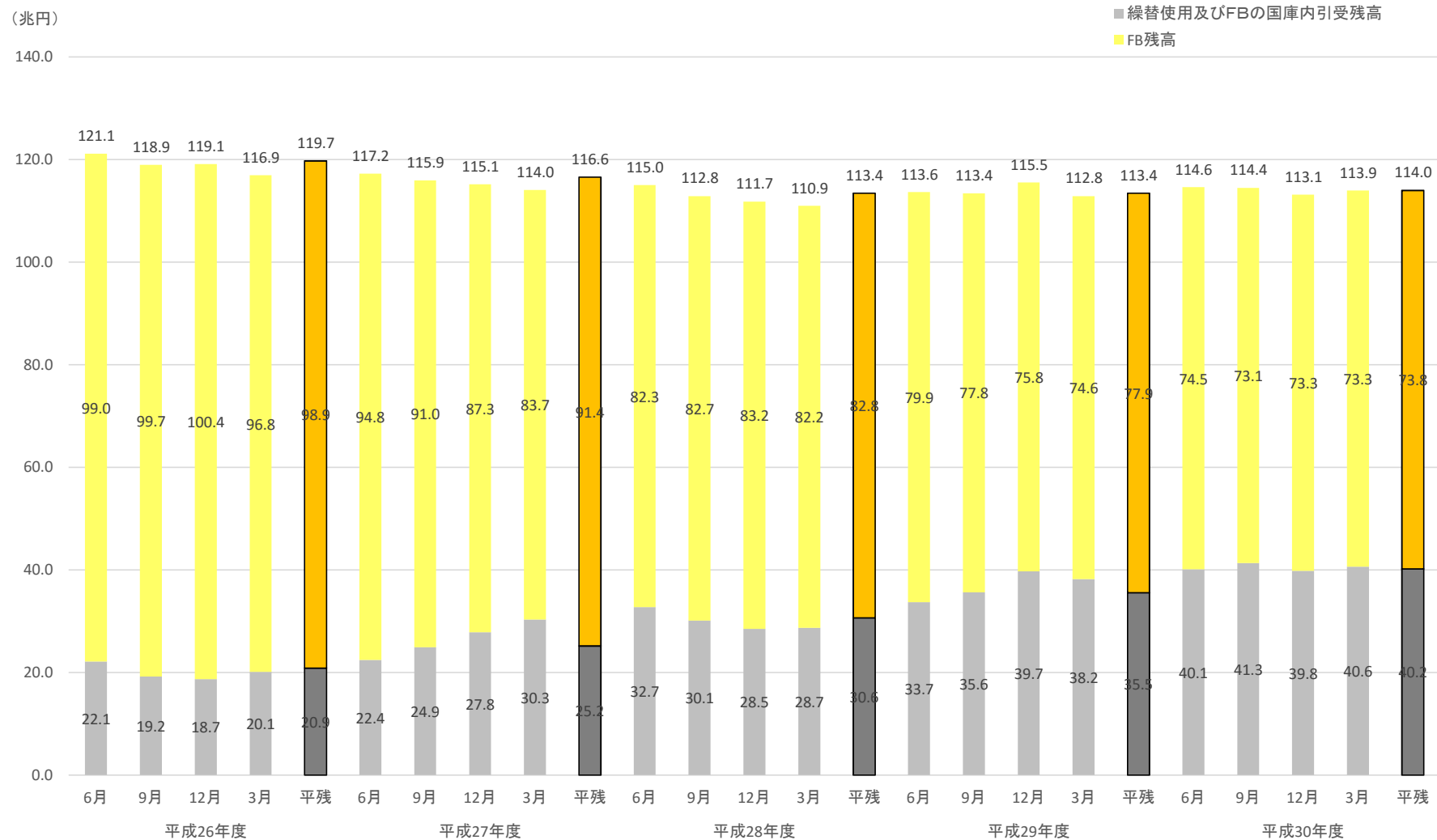
国庫資金繰り見込みに基づき、国庫全体として資金の不足が見込まれる場合には、政府短期証券の発行により不足資金を調達しています。一方、国庫に余裕が生じると見込まれる場合には、資金不足が見込まれる特別会計への国庫余裕金の繰替使用や「国内指定預金」と呼ばれる有利子の預金への組替え及び財政融資資金への預託により運用しています。

### (3) 実績報告

会計検査院への報告や報道発表等を行うため、各種様式に則って国庫収支の見込みや実績に関する報告書を作成しています。

# 資金需要と国庫内の資金で対応した額の推移

(兆円)



- 市場への影響等を勘案しつつ、国庫内に生じた余裕資金を用いて、資金需要が生じている特別会計等へ無利子での貸し付け(国庫余裕金の繰替使用)や、特別会計等が発行する政府短期証券(FB)の引受け(政府短期証券の国庫内引受)を行うことにより、特別会計等の資金需要を満たすと同時に民間からの資金調達額を抑制することが可能となる。
- 国庫全体の資金需要については、外国為替資金特別会計を中心として概ね110兆円程度の需要(要調達額)があり、これに対しては、現状、①FBの市中発行、②繰替使用及びFBの国庫内引受により資金調達を行っている。
- 表中の各月における計数は月末時点における残高であり、平残における計数は各年度における平均残高である。
- 平成28年2月以降、FBの国庫内引受の実績はない。

# 「国庫収支見込システム」の政策評価との関係

「政策目標 3 : 国の資産・負債の適正な管理」

○政策目標 3 - 4 : 国庫金の効率的かつ正確な管理

財務省では、国庫金受払状況や残高の確認及び予測に基づいて国庫金の過不足の調整をすること等、国庫金の管理を行っています。このような国庫金の管理を適正に行うため、国庫金の管理を一層効率的に行うとともに、出納の正確性を引き続き確保することを目指します。



## ◆ 政策目標を達成するための施策

(3-4-1) 「国庫金の効率的な管理」

(3-4-2) 「国庫金の出納事務の正確性の確保」

(3-4-3) 「国庫収支に関する情報提供」

⇐ 「国庫収支見込システム」が  
関係する施策

## 【施策の評価】

「国庫収支見込システム」が関係する施策（3-4-1）については、「目標達成」という評価見込みとしている。

## 【本事業の成果と政策目標との関係】

日本銀行や各府省庁等から国庫収支に関する情報をオンラインで登録させることにより、資金繰りの精緻化・効率化を行い、政策目標を達成するための施策を適切に実施しており、本事業は政策目標の達成に寄与している。